

# 異常時の措置

冷凍保安責任者

異常時には、事態を冷静に判断し、必要な措置をとること。  
ただし、いずれの場合も人命の尊重を優先し、危険が予想されるときは指揮者の指示により退避すること。

## 運転時

圧縮機、ぎょう縮器に、次のような異常があったときは、直ちに運転を停止し、原因を調査する。

- ★ 圧縮機及びぎょう縮器の温度または圧力が異常に上昇したとき。
- ★ 圧縮機が異常な音響を発したとき。

## 冷媒の漏えい

冷媒ガスが漏えいしたときは、直ちに運転を停止し、換気を行なうこと。漏えいが激しくて危険が予想される場合は、直接作業に携わる関係者以外を退避させる。

## 火災時

冷凍施設の付近に火災が発生したときは、直ちに運転を停止し、社内消防隊に連絡するとともに最高保安責任者に報告する。

## 地震時

地震が発生し、危険が予想される場合は、すみやかに運転を停止し、鎮静後、機器の損傷、冷媒ガス漏えい等の異常の有無を点検する。

### 異常時連絡先

消防 119 警察 110

神奈川県

### ＜フロンガスの特性＞

色臭：無色透明で、ほとんど無臭である。

比重：ガスは空気より重い。(空気の約3~4倍)

毒性：毒性はほとんどないが、多量の場合は窒息の恐れがある。また裸火に触れるとホスゲン等の毒性ガスを発生する。

取扱上の注意：液を皮膚につけぬこと。火気に近づけぬこと。